

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 105-7140  
 住 所 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター  
 氏 名 全日本空輸株式会社  
 代表取締役社長 井上 慎一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	全日本空輸 株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区殿町3-26-3		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業、郵便業
	中分類	46	航空運輸業
主たる事業 の内容	その他管理、補助的経済活動を行う事業所		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,616	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

## (第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の環境負荷低減の取組については、下記URLに記載 <a href="https://www.ana.co.jp/ana-info/ana/csr/main.html">https://www.ana.co.jp/ana-info/ana/csr/main.html</a>

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策計画

#### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

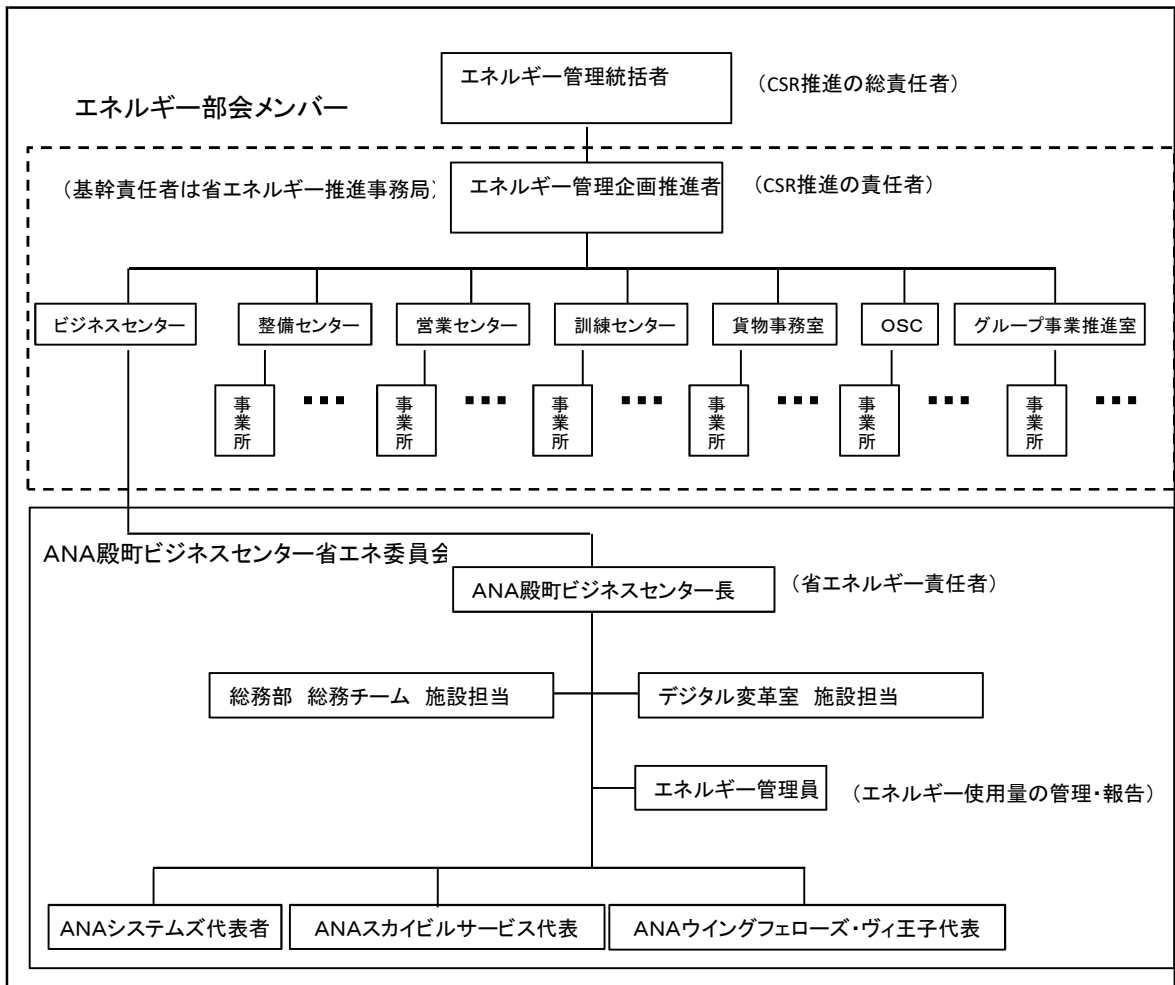
##### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- 1) 地球温暖化対策に関する取組を組織的に行い、継続的に対策を推進します。
- 2) 環境関連の法律・条令・規則を遵守し環境汚染の防止努めます。
- 3) 廃棄物の抑制とリサイクルの推進により、資源の節約に努めます。
- 4) 24時間空調エリアの改善等を進めエネルギー使用量の削減に努めます

##### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

ANA殿町ビジネスセンター省エネ委員会で、毎月エネルギー分科会を開催し、エネルギーの使用量、省エネ対策実施効果の検証を行う。

#### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 2,881 (調) 2,868 t-CO <sub>2</sub>	(実) (調) t-CO <sub>2</sub>
目標	排出量	(実) 3,091 (調) 3,044 t-CO <sub>2</sub>	(実) (調) t-CO <sub>2</sub>
削減量		(実) -210 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
内訳	対策実施による削減量	(実) 86 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の削減量	(実) -296 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) -7.3 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量			
原単位の単位			
基準年度の値			
目標年度の値			
削減率		%	%

ウ 目標設定に関する説明

2020年度よりのコロナ感染症拡大に伴い、羽田空港に於ける航空需要の大幅減の影響を受けて、計画については都度柔軟に対応していかなければならない状況であり、現在を底の状態として捉えている為  
 基準年度よりもエネルギー消費量は段階的に計画に合わせて増加傾向となる見込み。  
 A N A 殿町ビジネスセンター管理棟は2013年9月竣工の比較的新鋭の設備である事、及び当初より種々の省エネ対策が施された建物設備である事から今回の計画期間内に於いて設備更新等に基づく大幅なエネルギー削減は見込めない状況である。  
 事業活動地球温暖化対策計画中のCO2排出量はコロナ禍前の2019年度の実績値より毎年1%程度削減、3年で3%削減 (3,187 t-CO<sub>2</sub> × 0.97 = 3091 t-CO<sub>2</sub>) を目標排出量としました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	1) 区画ごとに空調設定温度・湿度・スケジュールを確認し、用途・季節・曜日ごとの設定を見直し適切に管理する。 2) 24時間空調エリアの改善等を進め電力量削減を行う。 3) 利用エリアの制限を設け、効率的な空調設定の管理を行う。 4) LED照明の更新に伴い、高効率のLED照明の選定を行い電力量削減を行う。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

1) エネルギー使用量を月次で取り纏め、事業所内で共有・分析を行いながらエネルギー管理を行っている。 2) 事業所内の入居者による省エネルギー委員会を設置し月次で報告・検討会議を行い、省エネルギー意識の醸成を図っている。 3) エレベーターの利用状況を確認し、台数制御運転を行う。(平日23時~6時、休日常時2台運転) 4) 照明の照度制御を行い、在室時700lx、不在時10lxに設定し電力削減を図りました。
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他( )		
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

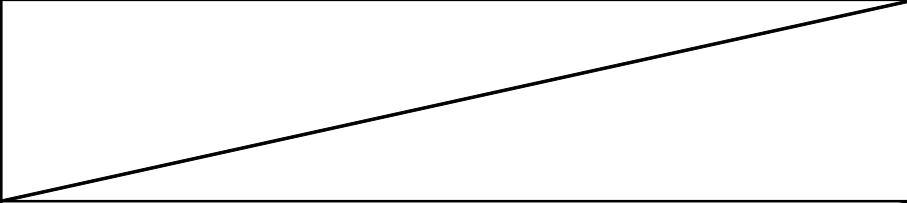
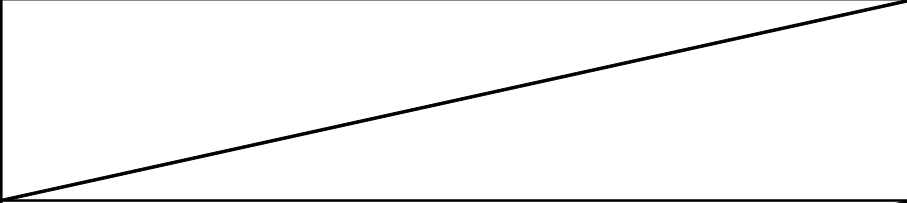
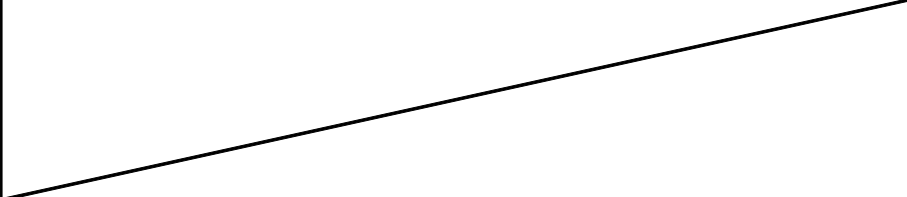
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	定格出力:100W×420=約41.9Kw 設置年度発電実績51345Kw 前年度発電実績44909Kw設置年度比:21/14(年度)87.5% ANAビジネスセンター	2013度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

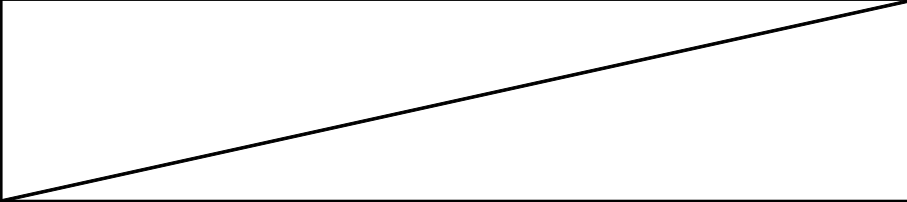
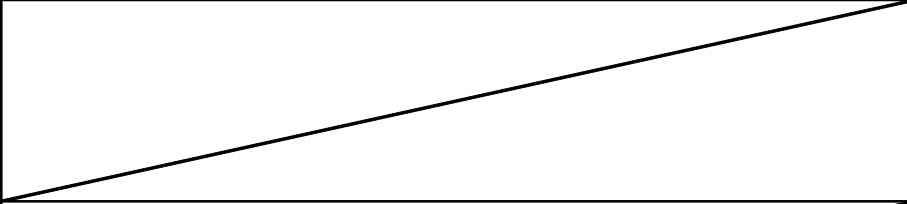
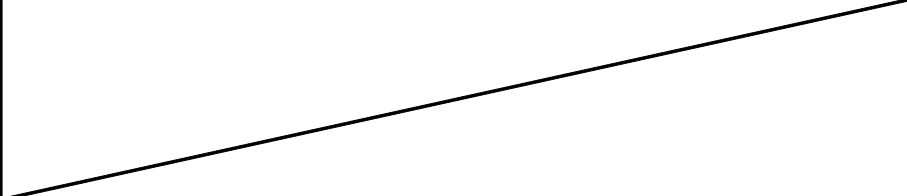
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	2,881	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

1,616	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
ANA 殿町ビジネスセンター	川崎市川崎区殿町3-26-3	2,881 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>